

授業科目名	教育行政学B（中等）(2100106)		
時間割名	教育行政学B（中等）(31107)		
時間割担当	西辻正副		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	水・1		

授業の目標・概要

戦後の教育行財政制度の変遷、現在進められている教育改革などについて国際比較の視点を交えながら学び、今日の教育改革とその下での中等教育の問題を考える。国と地方の教育政策や教育行財政、中等教育諸学校の教育課程や教科書、教職員に係ること、中等教育を巡る新たな課題などについて取り上げる。授業は、ペアやグループなどによる活動を重視する。

学習の到達目標

大きく変動している（しようとしている）国、地方、各学校など、主に中学校・高等学校における教育行財政の実態と問題、政策的な課題などについて理解し、教員等としての基礎的な資質を身に付けることを目標とする。

授業方法・形式

それぞれの学習テーマに対して、テキストや補助資料を活用しながら授業を進めていく。必要に応じて、ペアやグループ学習、取り上げるテーマに関するディスカッション等を行う。

授業計画

- 第1回 教育振興基本計画と教育行財政の方向性
導入として、現時点での教育行財政の基本的な方向性について学ぶ。
- 第2回 教育行財政の範囲と戦後の展開
教育行財政について、史的展開も含めて基本的な事項を学ぶ。
- 第3回 国の教育行政
我が国の教育政策の決定過程や、行政運営の実際を学ぶ。
- 第4回 国の教育財政
我が国の教育財政制度の特質を、国の教育費支出及び予算を基に学ぶ。
- 第5回 地方の教育委員会の教育行財政
教育委員会の行財政運営の実際と課題について、近年の改革の方向性を踏まえて学ぶ。
- 第6回 教育課程行政
教育課程の編成、管理運営等に関する法制、その中心にある学習指導要領について、教育の質という点から学ぶ。
- 第7回 教科書制度
教科書に関する行政制度、教科書採択の仕組みなどについて学ぶ。
- 第8回 教育費と教育の機会均等
教育費負担と修学支援制度の実情や課題などについて学ぶ。
- 第9回 教職員に関する制度
教職員の地位、身分、服務などを、公務員の視点からその特徴や課題などについて学ぶ。
- 第10回 教員評価・教員の資質向上
教員評価制度の実情と課題を、教員の資質の向上という点から学ぶ。
- 第11回 学校経営
学校経営と直接関わる教育政策、学校のガバナンス改革などについて学ぶ。
- 第12回 教育行財政における国と地方の関係
教育行財政に関する、国と地方、都道府県と市町村などの関係について、教育改革の動向を踏まえながら学ぶ。
- 第13回 生涯学習等と教育行財政
学校教育以外の教育行財政について学び、教育行財政について大局的に俯瞰する。
- 第14回 タイムリーな教育政策や課題
各回で取り上げることが出来なかった話題で、タイムリーなものや、喫緊の課題などを学ぶ。
- 第15回 授業の総括として、これまで身に付けた内容を論述、説明することなどを通してまとめる。

成績評価の基準

授業中に課する小レポートを評価し、授業に対する関心・意欲・態度や理解度を評価する（30％）。
課題レポートにおいて、課題探究の深さ、緻密さ、斬新さなどを評価する（30％）。
学期末においては総合的な理解を確認する（40％）。

授業時間外の課題

授業時に、次回以降の学習テーマについて、キーワードをはじめ、予習する内容を具体的に伝える。必要に応じて提出も課する。復習についても同様。

メッセージ

「教育行政学A（初等）」で学んだことを基に、中等教育へと視野を広げていきます。皆さんが、授業に主体的に取り組んでくれることを期待しています。

教材・教科書

「講義ノート」（毎回配付）

参考書

授業中に指示する